

CONTENTS

- 609 未来への出発—会長就任にあたって— 安西祐一郎
Departing to the Future Yuichiro ANZAI (Keio Univ.)
- 612 創立45周年記念特別寄稿：情報という言葉を探る(3) 小野厚夫
Search for Japanese Term 'joho' in Actual Use (3) Atsuo ONO (Otemae Univ.)

特集
Special Features

情報社会における脆弱性にかかわる 研究動向

Research Trends on Vulnerabilities in the Advanced Information Society

- 618 編集にあたって 村瀬一郎
Foreword Ichiro MURASE (Mitsubishi Research Institute, Inc.)
- 619 1. 情報社会の脆弱性について 村瀬一郎・土居範久
Vulnerabilities in the Advanced Information Society Ichiro MURASE (Mitsubishi Research Institute, Inc.) and Norihisa DOI (Chuo Univ.)
- [2. 情報システムを構成する基盤技術における脆弱性]
- 625 1. 暗号における脆弱性について 岡本栄司・松浦幹太・富高政治・猪俣敦夫
Vulnerabilities in Cryptography Eiji OKAMOTO (Univ. of Tsukuba), Kanta MATSUURA (The Univ. of Tokyo), Seiji TOMITAKA (Fujitsu Ltd.) and Atsuo INOMATA (Japan Science and Technology Agency)
- 630 2. ソフトウェア製品における脆弱性 歌代和正・鎌田敬介
Vulnerabilities in Software Products Kazumasa UTASHIRO (Internet Initiative Japan Inc. / JPCERT Coordination Center) and Keisuke KAMATA (JPCERT Coordination Center)
- 636 3. Webアプリケーションにおける脆弱性 高木浩光
Security Vulnerabilities in Web Applications Hiromitsu TAKAGI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- [3. 大規模なシステムにおける脆弱性]
- 643 1. DRMにおける脆弱性について 山口英・金野和弘
Vulnerability Considerations in Digital Rights Management Suguru YAMAGUCHI (Nara Institute of Science and Technology) and Kazuhiro KONNO (Japan Science and Technology Agency)
- 648 2. 脆弱性を視覚化するハザードマップとコストモデルについて 村野正泰・江連三香・村瀬一郎
Hazard Map and Cost Model for Visualizing Vulnerabilities Masayasu MURANO, Mika EZURE and Ichiro MURASE (Mitsubishi Research Institute, Inc.)
- [4. 脆弱性を克服するために]
- 657 1. 脆弱性にかかわる法的側面について 高橋郁夫
Legal Aspects of Vulnerabilities Ikuo TAKAHASHI (The Chambers of Mr. Ikuo TAKAHASHI)
- 662 2. 脆弱性情報の取り扱いについて—情報セキュリティ早期警戒パートナーシップの概要と運用の状況—
早貸淳子
Vulnerability Information Handling Arrangement "Early Warning Partnership for Information Security" - Outline and the State of Operation -
Junko HAYAKASHI (IT Security Center (ISEC) / Information-Technology Promotion Agency (IPA))
- 672 3. 脆弱性問題を解決するための多重リスクコミュニケーター 佐々木良一
Multiplex Risk Communicator to Solve the Vulnerability of IT Society Ryoichi SASAKI (Tokyo Denki Univ.)

- 677 学習対象メタデータ (LOM) 付与による教育用コンテンツの共有と流通 清水康敬
Sharing and Distributing Educational Contents by Learning Object Metadata (LOM) Yasutaka SHIMIZU (National Institute of Multimedia Education)
- 691 少数キーによる入力-ユニバーサルな言語コミュニケーションを目指して-
田中久美子
Entering Japanese with a Few Button Device Kumiko TANAKA (The Univ. of Tokyo)

- 684 組込みソフト産業の実態と開発の課題 組込みソフトウェア特性に基づくプロジェクト構築
野中 誠
The Reality and Challenges in the Embedded Software Business : Building Software Projects Based on Embedded Software Characteristics Makoto NONAKA (Toyo Univ.)
- 697 Web サービス Web サービスの本格的な活用と普及に向けて 大場みち子
Web Services : Aiming at Real Use and the Spread of Web Services Michiko OBA (Hitachi Ltd.)
- 701 Haskell プログラミング 数当てゲームを解く 尾上能之
Programming in Haskell : Solve the Number Guess Yoshiyuki ONOUE (The Univ. of Tokyo)

- 708 情報技術と医療 般若心経 メタモデリング的抄註 廣瀬康行
Healthcare : A Commentary on the Prajna Paramita Hrdaya as a Meta-modeling Framework Yasuyuki HIROSE (Univ. of the Ryukyus)
- 710 アメリカ IT まわりの話題 商品が過去を語る日 藤崎哲之助
IT Topics in the US : Product Will Soon Speak Itself Tetsu FUJISAKI
- 712 日本の IT 事情 日本の IT 研究開発のしきり直し 坂内正夫
Information Technology in Japan : Toeing the Mark Again for IT Research and Development Masao SAKAUCHI (National Institute of Informatics)
- 714 電子認証いまむかし 電子認証の苦悩 (1) 櫻井三子・木村泰司
Electronic Authentication, Its Past and Present : Perplexity of Authentication (1) Mine SAKURAI (NEC Corp.) and Taiji KIMURA (Nara Institute of Science and Technology)
- 716 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
A. Newell and H. A. Simon : Human Problem Solving 三宅なほみ
A. Newell and H. A. Simon : Human Problem Solving Naomi MIYAKE (Chukyo Univ.)
- 717 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
Ben Shneiderman : Designing the User Interface : Strategies for Effective Human-Computer Interaction 増井俊之
Ben Shneiderman : Designing the User Interface : Strategies for Effective Human-Computer Interaction Toshiyuki MASUI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

その他

- | | |
|--|---------------------|
| 718 著者紹介一覧 | 724 会員の広場 |
| 719 名誉会員の紹介 | 726 IPSJ カレンダー |
| 721 平成 16 年度功績賞 | 728 人材募集 |
| 722 平成 16 年度論文賞 / 平成 16 年度業績賞 / 平成 16 年度研究開発奨励賞 (概要) | 734 有料会告 |
| 723 おふいすらん | 736 アンケート用紙 |
| | 737 編集室 / 次号予定目次 |
| | 738 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |



編集系独白

ウィルス対策ソフトが自らシステム障害を起こす (2005-04-23), 不正アクセスを受けサイトを一時閉鎖する (2005-05-16) ような「情報社会における脆弱性にかかわる研究動向」が特集で, 編集を村瀬一郎にお願いした。

小野厚夫の労作「情報という言葉を探ねて」は最終回。本学会設立時まで来た。編集子が勤務していた計数工学科創設の折, 米国のU-2偵察機が中国上空を侵犯し, 情報工学科はスパイ学科かと疑われ, (計測と数理から) 計数工学に落ち着いたことを思い出す。

その計数の卒業生の書く記事が今月も多い。携帯からのメール入力为代表事例の「少数キーによる入力—ユニバーサルな言語コミュニケーションを目指して—」は田中久美子による。いろいろあるね。SHKはcatとratで同じキー入力列なのが面白かった。こういう方式, デザイナー以外にも使えるのか心配だ。


清水康敬による「学習対象メタデータ (LOM) 付与による教育用コンテンツの共有と流通」はe-Learningのための教材をネット上で探すためのメタデータの話だ。さっそくNIMEとLOMでググリ, 大学の専門分野で計算工学を見てみた。きちんと登録せぬせいか限られた大学のシラバスしか見られなかった。公開教材ではMITのOpenCourseWareが有名だが, 日本でも5月, オープンコースウェア連絡会が発足した。→ <http://www.jocw.jp/>

Webサービスは「Webサービスの本格的な活用と普及に向けて」(大場みち子)。サービスである以上, 品質保証や課金を考えなければならぬ。今回はそれが話題になる。

尾上能之が当番のHaskellプログラミング「数当てゲームを解く」ではプログラムの例によく使われるMOOを取り上げた。本連載のプログラムは<http://www.sampou.org/haskell/ipsj/>から取れる。処理系を入手し, 手元でも走らせてみてほしい。

組込みソフトの連載「組込みソフトウェア特性に基づくプロジェクト構築」(野中誠)には日本の組込みソフトのバグ密度が格段にすばらしく書いてあるが本当か。編集子密かに思えらく, 組込みソフトはぎゅんぎゅんにチューンするので, そこが難しい最大要因であると。

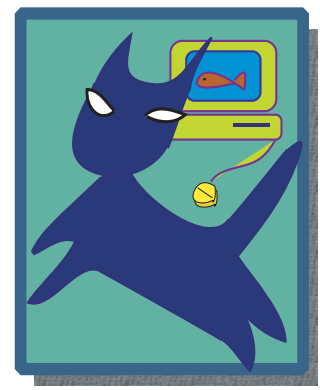
アメリカITまわりの話題は藤崎哲之助の書く「商品が過去を語る日」だ。日本でもいろいろなアプリが提案されているが, やはりアメリカは1歩も2歩も進んでいると感心する。でもチップを体内に入れるのはどうもね。この点では進まぬ方に1票。

名著論では増井俊之がShneidermanのユーザインタフェースの本, 三宅なほみがNewell, SimonのHuman Problem Solvingを論じた。Newellなら人工知能や認知科学用に設計されたIPL-V (Information Processing Language-V) が懐かしい。Lispの親となる言語だ。プロシンのロゴはNassi Shneidermanチャートが親。NSチャート, 最近見ない。

電子認証は「電子認証の苦悩 (1)」(櫻井三子, 木村泰司)で, 簡単に説明すれば(本文も読んでね)フィッシングをどう見破るかである。要はなにかいわれても徒や疎かに信用せぬことだ。「エラーが発生しました。報告しますか」と画面に。中国語ではないが(無視)²。

印哲梵文学科を出て僧侶になった友人に禅問答をよく聞かされた。情報技術と医療で廣瀬康行は「般若心経 メタモデリング的抄註」論を展開す。話法の域を飛び出し, 般若心経の観念でメタモデリングを解釈せんとする試みだ。摩可不思議, 申し訳ないがよくわからず。

日本のIT事情は4月から国立情報学研究所の所長の坂内正夫が「日本のIT研究開発のしきり直し」を書く。例によってこの分野に進学する学生が減ったと嘆く。夢よもう一度のためにしきり直し(動詞), 最先端(教育)研究情報基盤の形成が課題という。(味)



- 会誌編集委員会
編集長
和田 英一
担当理事
土井美和子
石田 亨
本号エディタ
天野 真家
片岡 欣夫
片山 紀生
片山 博
菊田 泰代
坂井 修一
田中 穂積
長谷川隆明
前田 敦司
増井 俊之
丸山 宏
村瀬 一郎
安信千津子
山崎 憲一

- 編集スタッフ
後路 啓子
松枝美香子
綿谷 亜樹

■ 46巻6号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース.....	前付 2, 4	ソフト・リサーチ・センター	前付最終上
エッチ・アイ・ティー	表 4	ターボデータラボラトリー.....	前付 6 下
オー・ティ・ビー	前付 6 上	日本パーソナルコンピューター.....	表 2 対向
オーム社.....	前付 3	ビジュアルテクノロジー.....	表 2
科学技術振興機構.....	前付 7 下	三菱電機.....	表 3
サイエンス社.....	前付 5	連続セミナー 2005	目次前
情報通信機構.....	前付 7 上		

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は, お名前, 電話番号, 勤務先または学校名を明記の上, E-mail または Fax にてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax:(03)3368-1519